

# たまつり

広報

## 人口と世帯数

48年 8 月1 日現在

(単位・戸, 人)

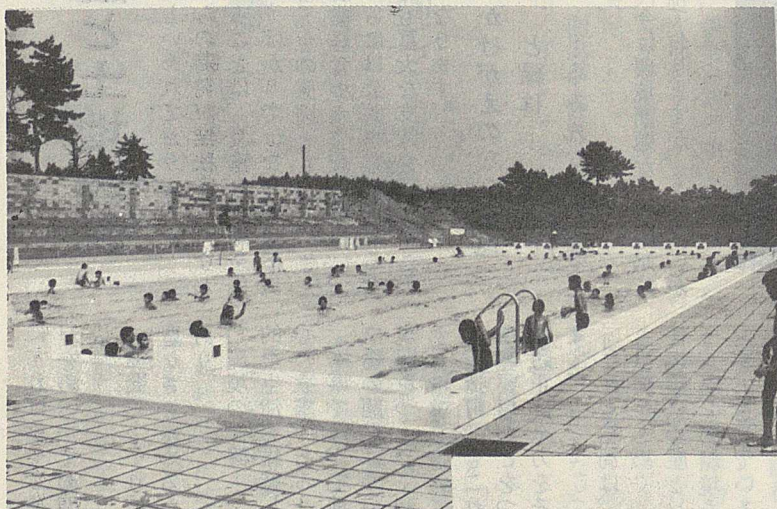
人 口 13,803 人

男 6,779 人

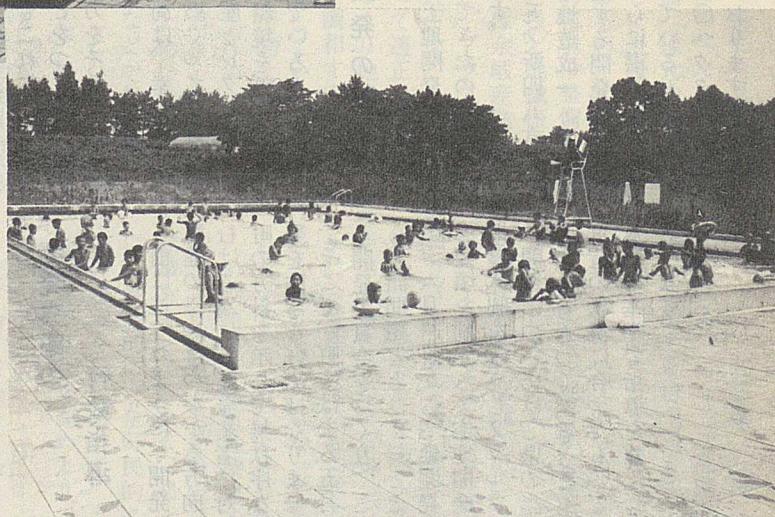
女 7,024 人

世帯数 3,076 戸

(毎月1回発行) 発行人町長 坂本常蔵 昭和38年1月23日第三種郵便物認可  
印刷所 さんゆう社印刷 定価10円



↑ 大 プ ー ル



→ 小 プ ー ル



## 夏盛り



海水浴も気をゆるめて、できないとあって、町営のプールは毎日大入りです。

田舎の涼を求めて田舎に親せきのある都会の人達の姿も見られるようです。プールも小プールが出来たため子供会等の使用が行われているので連日夏の熱さをとばすようなにぎわいです。暑い夏も短かい間に過ぎてゆきます。たつぷり暑さにあたって冬に備えて体力をつくっておきましょう。

× × ×  
× × ×  
× × ×

× × × ×



# 環境を「きれい」にしよう

## ごみの整理には責任を

ごみの収集について次のことに協力して下さい。

①ビニールの袋には危険物だけをに入れて下さい。時に残飯・野菜が入れてありますが、危険物等以外のものを入れると運搬車は持つて行かずトラブルのもとになります。

危険物の収集日は第二・第四の水曜日です。

②一般の「ごみ」は紙の袋に入れ、毎週火曜日と金曜日に出して下さい。

この頃、①と②が守られないため、収集車が行った後に袋を出す人があるために、収集所にいつも袋があるとこ

ろがあります。

袋の使用区分と収集日と、収集車が来る前に袋を出すことだけは守って下さい。

③ごみ捨て場について  
収集日だけでは「ごみ」の整理がつかない家庭のために町営の「ごみ」捨て場を設置してあります。ところが、いろいろと都合がおきています。他町村から車が来て「ごみ」を捨てる。自分の町だけでも

手を焼いているのに、これではたまりません。注意をする。衛生課に車のナンバーやドア等に書いてある事業名等を通報するなど適宜な方法で御協力下さい。

## 産業廃棄物が 持ち込まれる

産業廃棄物は、法律では自分で仕舞うことになっていいます。事業所、食料品店、建築業、農家等から出る「ごみ」は、これに入ります。稲ワラ大量の野菜くず、動物の加工残物、畑の雑草等々バラエティに富んでいます。しかも投棄の仕方が極めて乱雑です。

収集車の方に廻すのが当然のような少量の「ごみ」でもごみ捨て場にすてられます。特に、お化粧をした女性が入りに「ポイ」と捨てて行くのは全く識外です。自分が持つて来たものが「ごみ」なのですから……  
糞虫我が身を知らずトカナン

トカです。もし笑い事ではなく、誰もがかなり小なりこのような気持があり、これがつもりつもつて、臭気、ハエ、ネズミ、捨て猫乱雑なごみ山……夢の島の玉造判が出来るのです。

このごみを整理する人もあれば、週回には山主も耕作者もおります。耐え難きを耐えて、山の管理をしたり、田畑を耕作しておられる人達のこととも考え、ごみ捨て場の管理がし易いよう、御協力下さい。

このままでは、殺虫剤の散布すら出来ません。

## 事故多発地点に立看板

手賀地区交通安全母の会（会長、横須賀幸江さん）は、近頃竹の塙県道での交通事故が非常に多くなった事に気づき役員十八名の相談結果が「注意！事故多し」の立看板ということになり取付けられたものです。

この立看板は役員の人達の一人一人が交通安全の願いを込めて造った手製のものです。これからこの看板を見て通るドライバーの方々は、一日事故のない運転が出来るとしよう。

八月から「ごみ捨て場」については時間制限をします。使用時間は、午前九時～午後四時まで（土曜日は午前十一時まで。日曜日は使用禁止です）時間外に「ごみ」を持ち込みますと不法投棄となり三万円以下の罰金となりますから注意下さい。

なお「ごみ捨て場」は近くに有料になります。このことは既に議会の議決を経てあり、実施の時期について検討中です。

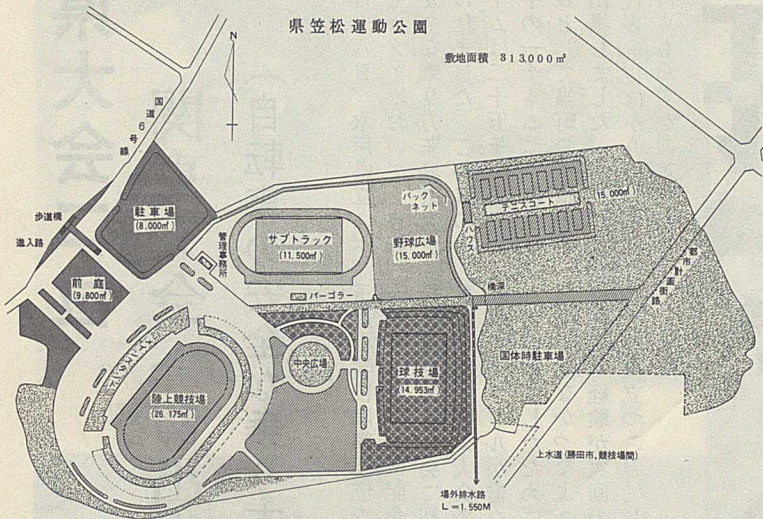


# 国体ガイド

## 国体の鳩

開会式当日、選手代表の宣誓終了と同時にファンファーレが吹奏され、鳩が放されます。その数は、先催の例によると、少ないときで二〇〇羽多いときで五〇〇羽です。本県では、いち早く準備にとりかかり、昨年八月「茨城国体鳩の会」が結成されました。会員は約一七〇〇人で、現在、各会員が飼育訓練中ですが、開会式には笠松の空を五〇〇羽の鳩が舞い飛びこにっています。

開会式当日、選手代表の宣誓終了と同時にファンファーレが吹奏され、鳩が放されます。その数は、先催の例によると、少ないときで二〇〇羽多いときで五〇〇羽です。本県では、いち早く準備にとりかかり、昨年八月「茨城国体鳩の会」が結成されました。会員は約一七〇〇人で、現在、各会員が飼育訓練中ですが、開会式には笠松の空を五〇〇羽の鳩が舞い飛びこにっています。

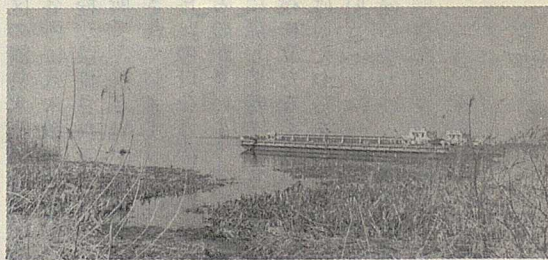


笠松グラウンド

## 川をきれいにする運動

実施期間 8月1日～8月31日

川は、わたしたちの命の源、生活の源、文化の源でもあります。大切な河川が、いたるところでゴミが投げ入れられたり工場からの汚濁水が流され、時には公害を伴うようなこともあって、わたしたちの生活は日増しに脅かされています。一日も早く、きれいな河川をとりもどし、河川を公害から守り、安心して生活ができるよう、一人一人が御協力ください。



## どのように支払われるか

### 福祉年金

福祉年金は、毎年一月と五月と九月の三回に分けてその月の前月分までの四ヵ月分（たとえば、五月には一月分から四月分まで）が、それぞれ月の六日以前に、みなさんが希望された郵便局（証書の三ページに記入されている郵便局）を通じて支払われることになっています。

証書に、証書の二ページの一番上に記入されている証書の二ページ以降の支払欄に記入されている「金額」をそれぞれ「住所」と「氏名」をいねいに書入れて証書の三ページに押し、証書と同じ印鑑を押して、証書といっしょに郵便局の窓口へ持参してください。これで手続きはおわりです。証書は、支払いが済みますと、日付印を押してみなさんにかえされます。

## 季節の話題

### 夏かぜ

夏かぜはバカがひく……といわれますが、とんでもありません。

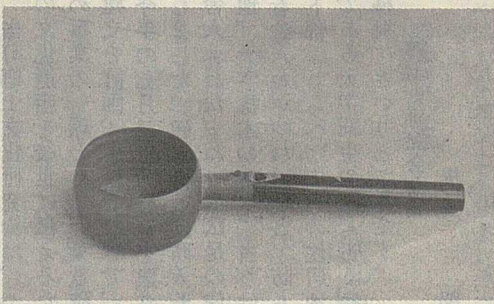
たとえば汗をかいて、そのまま放っておくと、かいた汗に体温を持っていかれて、かぜをひくということがあります。また、つめたい板の間や廊下での昼寝は気持がよく、五分や十分なら、三十分や一時間はすぐたつてしまします。少し日が傾きかけたころ、気がついて間に合いません。軽くしゃみ、すつと出てくる鼻汁、ぞくぞくとする涼しさを覚えたら、まあ、かぜと見て差しつかえないでしょう。心配なのは「プール熱」です。元気にプールに通っているうちはいいのですが、ときたま熱っぽい眼をしていて、それでも友達に誘われれば出掛けてしまい、元気なのだからと安心して、のどが赤くはれて高い熱を出します。こまめではかぜと同じですが、このプール熱は、眼が充血して赤くなるのが特徴です。



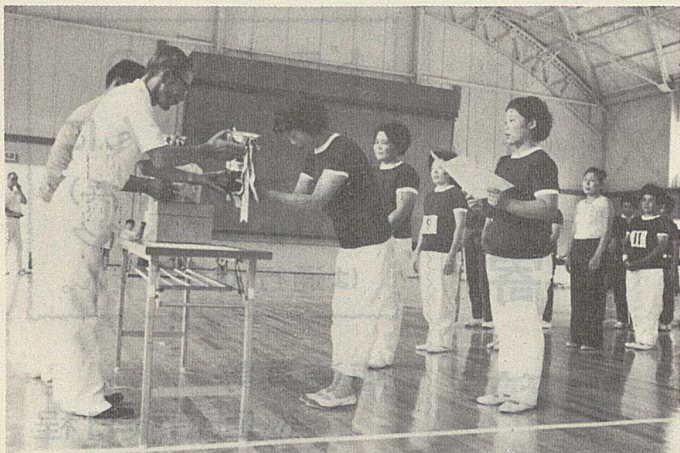
## たまつりの民俗資料

### 火のし (15)

「火のし」は現在で使っているアイロンの役目をしたもので、炭火を入れて織物生地を折目をつけたり、縫い上げたものにキチンと縫い目を



つけたたり、生地やその他の反物のしわをのばしたりするのに用いたものです。これは古く鎌倉時代から大正年間まで用いられていました。



体育協会長から表彰をうける優勝西小ママさん団



現原小ママさん団と西小ママさん団

七月二十六日現原小屋体でママさんバレーボール大会が行われ、各学校通学区単位のママさんで編成したチームで各地区ごとに毎日夜練習を重ねた結果とその日のチームのコンディションが成績となって現わされたものです。

七月二十六日現原小屋体でママさんバレーボール大会が行われ、各学校通学区単位のママさんで編成したチームで各地区ごとに毎日夜練習を重ねた結果とその日のチームのコンディションが成績となって現わされたものです。

## バッチリチームワークで勝利

### ママさんバレーボール大会

## 最近のぐ犯少年 対策は早朝に

「早朝発見、早期治療」は、病気の治療でなく、非行少年の鉄則です。ぐ犯少年もその不良性があまり進まないうちにできるだけ早く発見し、適切な手を打つことが必要です。非行化の危険のある少年を、早めに見出すためには

警察の街頭補導なども行なわれてますが、なんといつても毎日、少年と接触している親や、学校の先生などが、少年の行動などについて、十分注意をはらっていただくことがかんじんです。

シンナー・ボンドなどの乱用少年の実態調査などを見ると、少年がシンナーなどを乱用していることを知らなかった親が七〇%もいたことが報告されていますが、親が無関心だったり、放任したりしているケースが多く見られます。

## 電気は

### 安全に

〇濡れた手や汗ばんだ手でさわることは禁物、よく拭いて取扱いましよう。

〇家の建築、ビニールハウスの建設、井戸堀などで鉄パイプ鉄骨を使用するときに誤って電線にふれ、思わぬ事故をおこすことがありますので、事前に東京電力に連絡し、防護管を取付けましょう。

〇台風期にはテレビアンテナが倒れたり、立てかけた材木が倒れて、電線が切れることがありますので、しっかり結んでおきましょう。

切れた電線は危険ですので、さわらずにすぐ東京電力に連絡しましょう。

## 県大会二位

### 関東大会へ初出場

#### (自転車の安全な乗り方)

七月十八日、水戸県立スポーツセンターにおいて「自転車安全な乗り方茨城県大会」が行われました。この日の参加チームは二十五チームで、その中の一チームに、麻生地区代表として当町の玉造小学校が出場しました。さすが各地区代表一位ばかりの競技のため得点もわずかの差であり、



規則による乗り方テスト

## サラリーマンが

### 災害を受けた時

住宅や家財の二分の一以上の損害を受け、しかも年間見積所得が二百万円以下のときは一定の条件のもとに源泉所得税の徴収猶予や還付が受けられます。

## 救済措置

### 災害

税務署

予定納税額の減税申請

七月一日以後に災害を受け損害額が住宅や家財の価額の二分の一以上で、年間所得が二百万円以下かつ二十五日までの範囲で納付の免除軽減が受けられます。十月三十一日までに災害を受け、その年の所得税額が、予定納税額よりも少なくなる

と見込まれるときに申請することが出来ます。

## 期限の延長

災害のため国税の申告、申請、納付などが期限までに出来ないときは、申請によって二ヵ月以内の期限延長をすることが出来ます。

### おねがい

消火栓のいたづらは止めよう

手賀地区の給水施設、玉造中央区の簡易水道施設と同時に、各所に八十数カ所余りの消火栓が設備されましたが、数カ所で、ひどいいたづらが発見されています。特に、小石やビンなどの口などが詰められているのが多いようです。緊急時に際しては、消火栓が役に立たなくなります。絶対にいたづらをしないでください。

消防団長



歌碑

## 玉造町の万葉歌碑

万葉集に載っている常陸国関係の歌は三十八首と聞いてますが、そのうち玉造の防人の歌が二人で三首載っているというところは誇りとすべきことであると共に、また、玉造は万葉のふるさとと言えます。当町郷土文化研究会は、この文化遺産を後世に伝えるため事業の一環として万葉歌碑建立を計画、会員の総意で、今年の七月二基の歌碑を建立しました。建立場所は防人若舎人（わかづね）部広足の住地、大字捻木の若常（古くは若舎人わかづね郷）と、防人ト部（うらべ）広方の住居地である大字羽生の東（古くは橋郷）というところです。

郷土史研究会会長

堤 一郎

鹿島灘海岸(砂浜)  
は自動車・バイク  
は通行できません。

|                                              |                                  |
|----------------------------------------------|----------------------------------|
| 相 談 日 時                                      | 場所・相談内容                          |
| <p><b>8月16日</b></p> <p>(午前10時～正午)</p>        | <p>麻生町役場<br/>義手，義足<br/>等交付修理</p> |
| <p><b>9月11日</b></p> <p>(午前10時～<br/>午後2時)</p> | <p>玉造町役場<br/>補聴器交付<br/>修理</p>    |
| <p><b>9月18日</b></p> <p>(午前10時～正午)</p>        | <p>麻生町役場<br/>義手，義足<br/>等新調修理</p> |

☆  
☆  
☆

海ぞいの部落つゝ、みし夕立ちは吾が佇つ丘も雨降らし来ぬ

高野せいぎ

出産と死亡  
（6月）

赤ちゃん

小林克彦

箕輪秀樹

荒木田直美

高野直美

宮河美代子

今  
泉  
義  
明

金 今  
豕 是  
重 壽  
久 日

金壇重刊  
又重刊  
金壇重刊

方栗  
奇又  
奇香  
三縉

高崎芳彦

横田秀一

村上弘

郡司里美

堀田 恵美子

荒木田 昭

中  
田  
芳  
明

白鳥孝二

三

おくやみを

申上げます

氏名

頁  
買  
名

客賀復

野原長三郎

田  
山  
ト  
三

山口敏江

橋本富

滝崎敏雄

狩谷やす

今  
川  
ち  
か

☆訂正 前月号

讀者名、頁具「千

尊見「原三丞」

☆訂正 前月号「おめでた」の欄で七月は五月の誤り、保護者名、須貝「千勝」は「長平」の誤り。「おくやみ」の欄で樽見「源三丞」は「源之丞」の誤りでした訂正いたします。

おやみを  
申し上げます

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |   |   |   |    |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|----|
| 千 | い | 一 |   | 敏 | 順 | 正 | 照 | 隆 | 敏 |   | 美  | 義 | 富 | 喜 | 照 | 保  |
| 恵 | 多 | 男 | 実 | 夫 | 子 | 秀 | 夫 | 次 | 雄 | 昇 | 千代 | 雄 | 夫 | 一 | 男 | 護者 |
|   | 子 |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |   |   |   |    |
| 二 | 長 | 長 | 長 | 長 | 長 | 長 | 二 | 二 | 長 | 長 | 長  | 長 | 長 | 三 | 三 | 続  |
| 男 | 男 | 男 | 女 | 女 | 男 | 男 | 男 | 女 | 男 | 男 | 女  | 女 | 女 | 男 | 男 | 柄  |

部 八 上 下 小 八 西 荒 羽 若 柄 小 根 柄 中  
落 木 山 宿 座 木 蓮 宿 生 海 貝 座 古 貝 山